

④企画書に従ってWebページを制作する

グループ企画書

ホームページ (メニューページ) のページ
ファイル名 _____ .html

① ○○のページ
・前文(このWebページの見所)
・リンクするページの見出し
▽▽ △△ □□

○○の
写真

担当 _____

_____ のページ
ファイル名 _____ .html

② ▽▽

・▽▽をつくるのに必要な
道具
(表にしてまとめて書く)

道具名	解説	写真
A	...	Aの写真
B	...	Bの写真
C	... 担当	Cの写真

_____ のページ
ファイル名 _____ .html

③ ▽▽の製作工程

①..... ①の工程の
イラスト

②..... ②の工程の
写真

③..... ③の工程
の写真

④..... ④の工程の
イラスト

④と③の間に・
担当の工程を大
れる

...の工程の
イラスト

_____ のページ
ファイル名 _____ .html

_____ のページ
ファイル名 _____ .html

④

_____ のページ
ファイル名 _____ .html

⑤

_____ のページ
ファイル名 _____ .html

⑥

製作途中に新たな考えが出た場合、企画書に赤ペンで変更点を記述する

あえて、はじめに書いたものは消しゴム等で消さず、そのまま残しておく。また、新たな考えは違う色で書き加え、思考の過程をはっきりさせておくことで学習の振り返りができる。

より効果的に伝えるために「考えたこと、考慮したこと、工夫したこと」

日付	考えたこと、考慮したこと、工夫した点
6 /	製作に必要な道具を見やすくするために、表にまとめて書く。また、それぞれの道具について写真を入れる。道具の使い方のポイントとなる部分は文字の色を赤くしたり、フォントを変えるなどして強調する。
7 /	製作工程を細かく区切って書いたほうが、見る人にとって分かりやすくなると思う。(このWebページを見た人が、自分でもつくろうと思ったとき)そこで②と③の工程の間に、・・・を入れる。
7 /	Cの道具も入れたほうが、つくるとき失敗が少ないと思う。はじめは、入れなくてもいいと思ったが、入れることにした。
/	
/	

変更した理由を簡単に記述する

どのような道筋で制作を進めたか、完成後に振り返り、相手にわかりやすく伝えるための方法を考えることができる。

